

2025年5月7日

各 位

会社名 株式会社 ガーデン
代表者名 代表取締役社長 川島 賢
(コード番号：274A 東証スタンダード)
問合わせ先 専務取締役管理本部長 小澤 修三
(TEL. 03-5361-8003)

2025年2月期 決算説明会 質疑応答集(2)

2025年4月14日に発表いたしました2025年2月期決算について、当社で想定していました質問および発表以降に株主、投資家の皆様からいただいた主なご質問とその回答についてまとめたものです。尚、本開示は、ご理解いただきやすいよう一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1：各種コストが高まる中、増収幅に対して増益幅が大きいです。インフレ環境下の中、収益性を高めていく方法を教えてください。

A1：当社の強みである、企業再生型M&A、不動産事業、ブランド力・店舗運営のノウハウを有し、効率的な店舗経営ができていることを活かしながら、適正な値上げとコスト改善を行うことで、引き続き利益率の高い店舗運営を続けてまいります。

Q2：壱角家、山下本気うどんに次ぐ成長ブランドを今後新たに育てていく予定はあるのでしょうか。

A2：外食業界は流行の移り変わりが著しいため、例えば寿司やステーキにまた脚光が当たる時も来ると考えております。そうしたタイミングにすぐに対応できるよう、既存ブランドはすべて黒字化を達成しており、更に品質やサービスをブラッシュアップして、成長ブランドとして展開できる準備を整えています。また、当社の強みであるM&Aを活用し、新しいブランドを取得することで、第3・第4の柱となる事業を築いていく可能性は充分にございます。

Q3：一等地での出店が多数ありますが、物件費と利益のバランスはいかがでしょうか。

A3：一等地の出店は家賃が高いケースがありますが、賃料の金額の多寡ではなく、想定売上と利益との比率で出店の判断を行っているため、物件費と利益とでバランスが取れた出店となっています。

Q4：海外展開の可能性について教えてください。

A4：オーガニックな国内出店による着実な成長、M&Aによる非連続的な成長、そして、海外企業とのジョイントを目指し、ローカルマーケティングの準備を進めています。中長期的には、国外のシェアを高め、日本の食文化を世界に発信できるような企業になりたいと考えています。

Q5：株主優待について、拡充予定はありますか。

A5：中長期的な企業価値の向上に向け必要な内部留保は確保しつつも、店舗のオペレーション体制が整い次第、順次、株主優待券で使用できる商品の拡充等、検討しております。

以上